

# ピースクラブ通信

## No. 7

発行 社会福祉法人・ピースクラブ  
 住所 〒556-0014 大阪市浪速区大國一丁目11-1  
 連絡先 TEL&FAX 06-6647-2077  
 Eメール peaceclub@st.dion.ne.jp

寺内満雄さんが亡くなった。近くにいなながら、ぼくはどこまでも傍観者のまま終わってしまった。彼のためにも何かできることがあるようにも思ったが、そんなことが傲慢なような気もした。少くも手出ししたが、いやな気分が残った。一時期は生きる気力を失ってしまっただけに見えた彼が、最近見せていた、すさまじい生への執着心は、周囲のものをへトへトにするほどのものだった。けれど、あまりにも急に思えた彼の死に顔は、おどろくほど安らかだった。

### 覚えておくこと



故・寺内満雄さん  
 韓国・自然治癒学会の旅にて

「お願いします」とやかましかつたのに、うっかりす棺に入った顔しか見えないその肉体だけが、どうにも

何かぶつりと切れた感じ。と、すぐにでも忘れてしまいたい。跡形もない。あんなに。まいそうなくらい。ただ、

生々しかった。

「通信」に文章を依頼されて、ぼくは「自分のしごと」について何を書こうと、なにやかや考えていたが、そんなことがどうにもしんどく感じられる。本当は何も書かずに時間が通り過ぎるのを待っていたいような。

覚えておくことが仕事なのか、とふと思う。他の人がみんな忘れてしまっても、彼のことをちゃんと覚えておくこと。自分自身を含めて、死がすぐ隣にあることをちゃんと覚えておくこと。そういう風に日々い

### ピーエフエヌ

3月16日から19日にかけ沖繩に行ってきました。伊江島で開かれた平和学習会に参加するためです。92年だったか最初に訪ねて以来10数年沖繩に来ているのですが、

そのたびごとに空港を始め、都市部は変貌していきます。沖繩らしさが失われていく、というのは本土の人間の傲慢な言い方で、それを推し進めているのはヤマトです。▼阿波根昌満さんの意思を引き継ぐこの学習会。インド解放の父カンジューと同じ、非暴力、不服従の阿波根主義が今年のテーマ。その流れが現在の辺野古の闘いにも通じています。▼平和でなければ生きられない障害者としては、阿波根さんに見られる本当の「沖繩らしさ」に学ぶべきです(普)



前列左2人目が田中伸健君

きることに。ちゃんと覚えておけるように、一所懸命つきあうこと。いつもどこか悲しげだった寺内さんは、最後になにを訴えたかったのだろうか。ぼくは彼のことを、どれだけ覚えておけるだろ

うか。



（猿橋）

### 暴走大学生の微笑返し

大学生時代の体験です。ある日遅刻しそうになり、車を飛ばしているところ、こういう時に限ってねずみ取りをやっている、捕まってしまいました。ちなみに時速50+制限を75+で走り、25+オーバードでした。それで、まあいろいろ言われて、「どこへ行くんや？」と警官が聞いてきたので、「あ、大学です」というと、警官は私が予想もしなかったリアクションをしてくれました。「あ、大学ねえ……え！？」と言ったかと思うと、私をなめ回すかのように見て、次に「大学って世間の大学か？」と言いました。

“世間の大学ってなあに？” “世間でない大学ってなあに？”と、どれだけ聞こうかと思ったことか。恐かったので聞けませんでしたが……。本屋に行くと、本を立ち読みしていたところ、後ろから黄色い声がかしてきました。子供が騒いでいるのかと、気にもとめなかつたのですが、いつまでたつてもやみません。そこで振り返ってみると、私を見て笑っています。「いつものことか」と場所を移りました。しかし“黄色い声”は追っついて、物陰で私を指さしながら笑っています。私もこういうのは慣れていたはずなんです、なぜかその時には頭にきてしまいました。

帰ろうとエレベーターの前で待っていると、今度は私の見えるところで笑っています。ここで頭に浮かんだことがあり、それを試してみることができました。この技？は本で読んだことなんです、笑っている人にこちらが微笑む「微笑返し」という名らしいです。うーん、急に微笑むというのは難しいもので、誰もいないところを見て練習なんかしたりして、「黄色い声」に対して微笑んでみました。すると、つまらなそうな顔をして去っていきました。効いたのかな？ それとも顔が気持ち悪かったのかな？ どちらにせよ、目的は達したので成功かな。

最近、障害者が町中で歩いているというのは、不思議なことではなくなってきたが、まだこういう人がいるのかと、新鮮な気持ちでした。

(田中伸建)

最初のタイトルは編集者がつけましたが、想像しただけでもキモイ(笑)

田中君は去年の10月からピースに武者修行に来てましたが、4月から古巣である河内長野の「かすみ荘」に戻られます。果たしてこのピースで何を学んだのか、こちらから聞いてみたいところですが、お茶を濁されてしまいました。それはともかく、これからのご活躍を期待しています。

◆ニュースタッフ紹介◆ニュースタッフ紹介◆ニュースタッフ紹介◆ニュースタッフ紹介◆ニュースタッフ紹介◆

にいでえりかさん

オーストラリアより帰国後、昨年11月よりピースクラブのメンバーに加わりま

した、えりかです!!  
今更ですが、この場をお借りしてごあいさつをさせていただきます  
フットペインター木村浩子さんが、南オーストラリ

ア、アデレードで経営する「TSUCHI NO YADO B&B」

という宿で裕君と二人、2年ほど運営管理をしています。

自然に囲まれた生活には潤いがあり、且つ刺激的で、とにかく五感的生活

でした。宿泊者も国際的で各国の方々と、おいしいお料理とお酒をおともにお喋りが弾みました。美味しいものがあれば国境なんて!

言葉なんて! 笑顔になってみんな一つになっちゃいます! 食を囲んでワイワイしている時つて幸せですよ!

松瀬佐知子さん

「ピースクラブ通信に載せる原稿を書いて下さい。」そう晋作さんに言われてから早いもので1ヶ月。そして私もピースクラブに入つて1ヶ月と少しが過ぎました。新年会の餅つきに呼んでいただいた次の日に自転車でトラックに巻き込まれ、ずるむけたヒドイ顔での私のピース生活が幕をあげました。

福岡は久留米にて産声をあげ、後は広島県の因島という小さな島で高校卒業までのほとんどを過ごしました。両親ともに福岡の出身で、大阪へは大学入学とともに家族ごと越して来まし

みんなでいろんな事にチャレンジして、いろんな発見をして、ちっちゃな幸せいっぱい見つけましょう!!

左から松瀬さん、蒸子さん、えりかさん



左から松瀬さん、蒸子さん、えりかさん

たので、因島には親戚もいませんが、私にとつての故郷は今でも因島です。そして私の心の充電機は今も自然です。

春は潮干狩りに山菜とり、夏は家から見える海で泳ぎ、秋は学校から山ブドウやみかんを頬張りながら帰り（泥棒かな？）冬はアロピヤワカメを探りに行く（これも泥棒なのでは）。遊びと言えば、捨てられた針や糸をつなげ釣りをしたり、岩場で貝を空き缶でゆがいてたべたり、自然とたわむれる毎日でした（原始人と私を呼ぶ大阪の友達もおります）。

高校はセーラー服が着たという理由だけで尾道の学校に入学しましたが、本土（島人はこう呼びます）への道のりが遠すぎて居眠

りの毎日、大学は受験科目が3教科だという理由だけで女子大に入ってしまった、お化粧やブランドの女子の世界について行けず、自分が原始人のおっさんであることにやっと気が付きました。

それでも25歳までには結婚して子供もいるはずだった私は腰掛け気分です。業務職に就いてしまい、2年たかないうちに退社、その後放浪癖を発揮しフラフラした後、前職でありますマッサージサロンへ入社、整体と出会ひ、そしてヨガの水野先生と出会い、宇城先生の講座で大西さんと引き合わせたいいただき、今に至るという感じです。

この1ヶ月ちよつと、私の心はギュッと縮んだり、ほんわか温かくなったり

色々忙しいですが、明日死んでも後悔の無い日々を過ごす、がモットーの私にとつて、皆さんとの出会いはとても大きなものをもたらしてくれました。このようなチャンスをおくださって本当に感謝しています。これからみんなにピースの仲間としてはやく認めてもらってみんなが少しでも笑顔でいられるよう過ごしていきたいなあ！と思っております。色々御迷惑もおかけする事もあるかと思いますが、これからどうぞよろしくお願ひいたします！

### 【これからのスケジュール】

- 4月14日（土） 鎌田さん追悼集会  
（料理担当）
- 4月14日（土）～21日（土） フィリピンの障害者滞在  
（男性2人）
- 4月中旬 ぼうおくんれん  
防火訓練

《訂正とお詫び》先の1月号でキジムナー・スタッフ紹介の中で山村さんの名前が違っていました。正しくは朋子さんでした。それとスタッフとして河野恭子さんが抜けていました。また塩平紀子さん追悼準備会は潮平紀子さん…の間違いです。訂正してお詫びいたします。

（編集担当、中村晋作）。